

6/28
(木)

自閉症スペクトラムの理解

自閉症スペクトラム障害は、どのような障害なのか。自閉症スペクトラム障害への支援も日々進歩しています。また、改めて話を聞くことで気づくこともたくさんあります。

今年度の基調になる、支援する人全てが共有すべきテーマとなります。

いぶか のぶこ

井深 允子 先生

profile

臨床心理士
元滋賀県発達障害者支援センター「いぶき」センター長
NPO法人滋賀自閉症研究会たんぽぽ 理事

長年、滋賀県において障害のあるひとたちの支援に携わってこられ、特に旧滋賀県療育センター（現滋賀県小児医療センター療育部）において、自閉症児の療育に力を入れてこられました。

その後、発達障害者支援センター所長として、乳児から成人まで自閉症の人たちの生涯にわたる支援に尽力され、退職後も精力的に自閉症児者のために活躍中。

佐々木正美先生と一緒に、初めてアメリカノースカロライナ州ノースカロライナ大学TEACCH部の見学に行かれたメンバーの一人。

成人期の支援 保護者から

11/22
(木)

企業就労

知的には高いけれど、自閉症スペクトラム障害特有のアンバランスさを持つお子さんの保護者さんです。小さい時からその時々にあった家庭での支援を積み重ねてこられました。学校卒業後、B型作業所に入所されましたが、自分の意志で企業就労を希望し、パート雇用での就職を果たされました。

その子育ての様子や作業所から企業への移行についてお話しいたします。

2/28
(木)

生活介護型事業所就労

知的にも自閉症スペクトラム障害としても重度のお子さんを、丁寧に育ててこられた保護者さんです。小さいころから現在まで、子どもさんの様子にあわせてどのように支援されてきたかをお話しいたします。

合わせて、滋賀自閉症研究会たんぽぽが運営する生活介護型事業所さくら工房での様子もご紹介いたします。



2018年度学習会 スケジュール

開催日	テーマ	講師
6月28日(木)	自閉症スペクトラムの理解	井深 允子 先生
7月26日(木)	コミュニケーション 理解	門 眞一郎 先生
8月30日(木)	コミュニケーション 表出 1	門 眞一郎 先生
9月27日(木)	コミュニケーション 表出 2	門 眞一郎 先生
10月25日(木)	発達障害の人が犯罪に巻き込まれたら ～Vol.1 被害者としての立場から	辻川 圭乃 先生
11月22日(木)	成人期の支援 企業就労	保護者
1月12日(土)	ASDの対人関係と性への支援について	重松 孝治 先生
2月28日(木)	成人期の支援 生活介護事業所就労	保護者



お問合せ

NPO法人 滋賀自閉症研究会 たんぽぽ

〒525-0031 滋賀県草津市若竹町2-8

TEL/FAX 077-575-3796 (月・木10時～14時)

Mail tpshigaclass@gmail.com

※常駐のスタッフがおりませんので、出来るだけメールでお問い合わせください。

<https://www.facebook.com/npotanpopo/>
<https://npotanpopo.jimdo.com/>


◆対象 自閉症に興味のあるかた全般

◆会場 草津市立まちづくりセンター

◆時間 10:00～12:00

◆定員 100名

※定員を超える場合はお断りする場合があります。予めご了承ください。

◆受講費(1回) 一般¥2,500

会員¥1,000

※11/22、2/28の回のみ

1回 一般¥1,000/会員¥500

連続参加が
おすすめ
です!

7/26
(木)

コミュニケーション 理解

コミュニケーション 表出 1

8/30
(木)

9/27
(木)

コミュニケーション 表出 2

自閉症スペクトラム障害のひとたちが困っていることの一つは”ご本人たちの思いの「伝わらなさ」”だと思えます。話し言葉のない人はもちろん、あるひとその困難さは同じく抱えている課題です。「自閉症スペクトラム障害のひとたちとのコミュニケーション」について、理解してもらうために、そしてご本人から伝えてもらうために、どのように関わっていくのかを3回にわたってじっくり教えていただきます。

かど しんいちろう
門 眞一郎 先生

Profile

フリーランスの児童精神科医
西陣麦酒計画発起人
京都工芸繊維大学アクセシビリティ・コミュニケーション支援センター非常勤精神科医

1973年に京都大学医学部を卒業
7年間の病院勤務を経て、ロンドン大学精神医学研究所にて児童精神医学を研修
1981年~2017年、京都市児童福祉センター勤務

自著は、『不登校を解く』（ミネルヴァ書房）以外は、主にはホームページ「児童精神科医：門眞一郎の落書帳」<http://www.eonet.ne.jp/~skado/> に掲載。訳書は、ギャニオン『パワーカード アスペルガー症候群や自閉症の子どもの意欲を高める視覚的支援法』（明石書店）、ホジダン『自閉症スペクトラムとコミュニケーション』『自閉症スペクトラムと問題行動』（いずれも星和書店）、フロスト&ボンディ『絵カード交換式コミュニケーション・システム・トレーニング・マニュアル』（ピラミッド教育コンサルタントオブジャパン）、ボンディ『教育へのピラミッド・アプローチ：役に立つABA入門』（ピラミッド教育コンサルタントオブジャパン）など。

10/25
(木)

発達障害の人が犯罪に巻き込まれたら
~Vol.1 被害者としての立場から

近年、発達障害のひとが不幸にも犯罪に関わってしまう案件が報道されることを見かけることが増えました。その立場は被害者の場合もあれば加害者の場合もあり様々ですが、いずれも発達障害としての支援が必要な場面となります。今回はまず、発達障害のひとが被害者になってしまった場合を、弁護士として多くの発達障害者の方に関わってこられた辻川先生にお話しいただきます。

つじかわ たまの
辻川 圭乃 先生

profile

弁護士 大阪弁護士会
日弁連罪に問われた障害者刑事弁護PT連絡会座長
日本自閉症協会副会長
大阪市知的障害者育成会評議員
プロテクション・アンド・アドボカシー大阪代表

知的や発達障害のある人が地域で暮らしやすくなるための「コンビニプロジェクト」「ぽっぽやプロジェクト」「関西トラブルシューター」などを展開中。

2019
1/12
(木)

ASDの対人関係と性への支援について

自閉症スペクトラム障害のひとたちの人との関わり方には独特さがあり、それが時には社会的に不適切な場合もあります。そして、これが「恋愛」や「性」が絡んだものになるとさらにパーソナルな問題になり話題にしにくい、また、家庭や支援の現場で教えることも多々あります。そのような少し話しにくい課題をどう捉え支援していくかをお話しいただきます。

しげまつ こうじ
重松 孝治 先生

profile

川崎医療短期大学 医療保育科講師
特別支援学校(当時養護学校)の現場経験を経て、2007年より川崎医療福祉大学医療福祉学部医療福祉学科(岡山県)の講師へ就任。

現在は川崎医療短期大学講師として在任中。大学の講師と並行し、西日本を中心に発達障がいに関する福祉・教育の現場への助言、研修会の講師など多岐に亘り活動。

会場のご案内

草津市立まちづくりセンター
草津市西大路町9-6 JRびわこ線草津駅西口より徒歩約5分
●公共交通機関でお越しいただくか、周辺の有料駐車場をご利用ください。

